

「罌堂ブックオブザイヤー2024」の発表について

— 激動の世界と日本を読み解く一助、2024年を代表する書籍（計9部門25冊）が決定 —

一般財団法人尾崎行雄記念財団（所在地：東京都千代田区永田町1丁目8番地1号）は、このたび「罌堂ブックオブザイヤー2024」を下記のとおり選定しましたのでお知らせいたします。当財団研究員ならびに役員、「罌堂塾」運営委員が中心となって選考に当たり、今年を代表するにふさわしい政治関連書籍（部門別大賞22席、相馬雪香特別賞3席）が選出されました。

【部門別大賞】（50音順）

- | | |
|--------|--|
| 総合部門 | ・ 国力研究：日本列島を、強く豊かに。 （高市早苗編著、産経新聞出版） |
| 国政部門 | ・ マンガでたのしく！国会議員という仕事 （赤松健、ちくまプリマー新書）
・ 保守政治家 わが政策、わが天命 （石破茂著、倉重篤郎編、講談社）
・ 世界をリードする日本へ （小林鷹之、PHP 研究所）
・ 日本の経済安全保障 国家国民を守る黄金律 （高市早苗、飛鳥新社）
・ 一片冰心 谷垣禎一回顧録 （谷垣禎一、水内茂幸、豊田真由美、扶桑社） |
| 地方部門 | ・ マンガでわかる！地方議会のリアル （伊藤隆志、野村憲一、学陽書房）
・ 『声を上げれば政治は動く』 （かばさわ洋平、ギャラクシーブックス） |
| 選挙部門 | ・ 覚悟の論理 / シン・日本列島改造論
（石丸伸二、ディスカヴァー21／フローラル出版）
・ つなぐ力「この国を、前へ。」進めるために （黒崎祐一、ゴマブックス） |
| 演説部門 | ・ 戦時下の政治家は国民に何を語ったか （保阪正康、NHK 出版新書）
・ 世界のトップリーダーが話す1分前までに行っていること （矢野香、PHP 研究所）
・ 詭弁社会—日本を蝕む“怪物”の正体 （山崎雅弘、祥伝社新書） |
| メディア部門 | ・ 政治家は悪人くらいでちょうどいい！ （乾正人、ワニブックス）
・ 「“右翼”雑誌」の舞台裏 （梶原麻衣子、星海社新書）
・ シン・防災論 （鈴木哲夫、日刊現代／講談社） |
| 外交部門 | ・ 冷戦後の日本外交 （高村正彦、兼原信克、川島真、竹中治堅、細谷雄一、新潮選書）
・ 「言の葉」にのせたメッセージ （垂秀夫、日本僑報社）
・ 想像を超えた難事の日々 （仲本光一、世論時報社） |
| 安全保障部門 | ・ 14歳からの非戦入門 （伊勢崎賢治、ビジネス社）
・ 日本人が知らない台湾有事 （小川和久、文春新書） |

- 【相馬雪香特別賞】
- ・ [日本のブランドをつくった男 渋沢栄一「論語と算盤」](#) 恕（田村重信、三冬社）
 - ・ [50代上等！理不尽なことは「週刊少年ジャンプ」から学んだ](#)（常見陽平、平凡社新書）
 - ・ [毎週1話、読めば心がシャキッとすする13歳からの生き方の教科書](#)
（藤尾秀昭監修、致知出版社）

以上

<お問い合わせ先>尾崎行雄記念財団事務局 石田・高橋

メール info@ozakiyukio.jpホームページ <https://ozakiyukio.jp/gakudojuku/book2024.html>